NIE特集
Newspaper In Education
毎月第2・4火曜日発行

吉岡小

学校名　宮城県大和町立吉岡小学校　校長　笠松洋子
所在地　宮城県大和町吉岡町裏32　児童　705人
電話　022（345）4571

良縁を求めて人の列

島田飴祭りに迫る！

知り隊

私たち吉岡小のとなり、吉岡八幡神社には400年前から伝わる「島田飴祭り」があります。商店街を花嫁道中行列が通り、たくさんの観光客が鶴の形をした飴を買い求めていきます。昨年は12月14日に行われ、4年生の4クラス128人が参加。祭りを盛り上げました。そして、島田飴祭りとはどんな祭りなのかを調べました。

祭りの実行委員、児玉雅充さん（商店経営）に、島田飴祭りの言い伝えをうかがいました。

児玉さん（右）に島田飴祭りについて取材

花嫁道中に参加、感激

「昔、七ツ森のふもとの吉岡に若い神主様がいました。島田結いの花嫁に片思いして、恋わずらいで病気になったそうです。心配した村人たちは、花嫁の代わりに『島田髷』の形をした飴をつくり、神社に奉納したところ、たちまち病は回復しました」ということです。神主様は深く村の人々に感謝し毎年、年の暮れの14日に、縁結びのお祭りをすることになりました。

そうして昨年の師走、私たち4年生は、総合的な学習の時間の「吉岡の歴史を調べる」学習のために参加しました。その日は、朝から吉岡八幡神社の境内に飴を買い求める人の列ができました。祭りは、八幡神社から花嫁道中行列が出発して、吉岡商店街を通り神社に戻ります。

吉岡商店街では、花飾りを観光客に配りました。観光客の人たちに花飾りをあげたとき「ありがとう」と言われてうれしかったです。きれいな花嫁さんを目の前で見て、みんな大感激でした。八幡神社で花嫁道中行列を迎えるときは、笛や太鼓に合わせて、花飾りを振り、みんなで踊りながら迎えました。

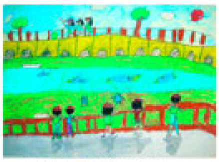
たくさんの観光客の人たちを見ていて、みんな縁結びの島田飴が欲しいんだなと思いました。買えた人たちは良い縁に恵まれればいいなと思いました。

◇　◇

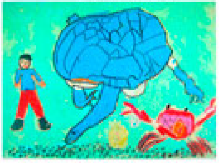
今年の12月も「島田飴祭り」があります。今年は、もっともっと多くの人たちが来てくれたらうれしいです。島田飴を買えば、きっと恋人に巡り会えると思います。皆さん、次のお祭りのとき、ぜひ吉岡に来てください。お待ちしています。

文・浅利渚、稲辺朋夏、鈴木莉奈（4年）

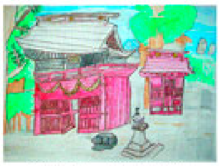
うきうきキャンバス



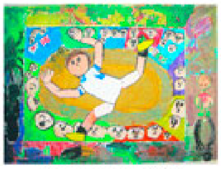
はれたどうぶつえん　1年・渡辺春菜



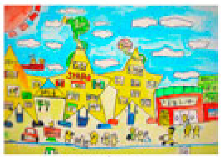
カメとカニとぼく　2年・山内恵斗



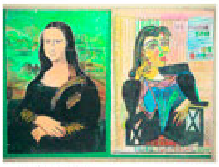
八幡神社　3年・星雄太



運動会　4年・高橋諒



スターアパート　5年・鈴木美友



名画の模写　マンガ・イラストクラブ

教え隊　茶道クラブ

感謝の卒業茶会成功

茶道クラブでお茶を点てた

吉岡小では、クラブ活動があります。その中から「茶道クラブ」を紹介します。茶道クラブの活動では、作法を覚えたり、お菓子を食べたり、お茶を点てて飲んだりしています。初めてお茶を点てたときは、手首をうまく動かすのが難しかったです。でも、いまでは上手になりました。

最後の活動では、6年生のために卒業茶会をやりました。感謝の気持ちを込めて、5年生みんなで準備しました。とても大変でしたが、成功したので良かったです。

文・安藤美帆、赤間亜莉沙（5年）

編集後記

「島田飴祭り」のことを記事にしたいと思ったのは、地域に伝わるお祭りを詳しく知りたかったからです。楽しかったのは一緒に祭りに参加することができたことです。祭りの前も、地域の皆さんには花飾りの作り方などいろいろ教えていただきました。私たちが住んでいる町のことが良く分かりました。もっともっと知りたくなりました。

この新聞づくりは、文章を書くのは難しいけど、記事になったときの喜びも大きかったです。本物の新聞社の人たちは何枚もある新聞を毎日作っていると思うと、その努力は大変なことだと思います。良い経験をすることができ、うれしく思いました。

〈編集委員〉浅利渚、稲辺朋夏、鈴木莉奈（4年）、安藤美帆、赤間亜莉沙（5年）、加藤千裕、庄司修（6年）
題字デザイン　品川京香（6年）
〈指導教諭〉　今村浩士

言い隊

■あいさつって難しい■

私は、あいさつをした後にとてもすがすがしい気持ちになります。反対にあいさつを忘れてしまった時は、いやな気持ちになります。あいさつをしたのに無視された友達がいました。あいさつを返さない人は、「しゃべっている時にあいさつされて困ってしまった」と言っていました。あいさつは、ひと言で相手をいい気持ちにもいやな気分にもさせます。タイミングが難しいと思いました。

どの国にもあいさつがあって、人とのスキンシップにもなるし、日々の感謝だと思います。「いただきます」は、命をもらっているからこその感謝のあいさつです。みんなにあいさつを大切にしてほしいと思います。

（6年・加藤千裕）

■そうじで気持ちよく■

チャイムが鳴ってクラスのみんなが、そうじに行きます。今日は職員室前が担当です。廊下は広くて大変ですが、しゃべらずに目と心で細かい所までそうじができました。担当場所が早く終わると、終わっていない場所へ手伝いに行きます。14カ所もの分担区があっても時間通りに終わることができます。ここが一組のすごいところです。

そうじはだれにでもできるけど、遊びながらしたり、適当にしたりしたらどうでしょう。きっと汚れて他人に迷惑をかけてしまいます。そうじは、自分の気持ちをよくするだけでなく、周りの人の気持ちもよくすると思います。

（6年・庄司修）

次回（23日）は、大河原小（宮城県大河原町）と愛子小（仙台市）です。